

平成23年4月1日

平成23年度学校経営に当たって

大賀郷中学校長 梅田 龍示

1. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の基礎と基本を確実に身につけ、生涯にわたる学習の基礎を培い、社会の変化に主体的に対応し、心豊かでたくましく生きる活力のある生徒の育成を図る。

進んで学習する人
礼儀を大切にすること
心身共に健康な人

2. 具体目標（育てたい生徒の姿・学校の姿）

・進んで学習する生徒

基礎・基本の学力を身につけた生徒。気づき・考え・実行する生徒。自ら学ぶ姿勢を身につけた生徒。

・礼儀を大切にすること

挨拶や礼儀作法など社会生活の基本を身につけた生徒。自分のよさや他の生徒のよさがわかる生徒。相手の話をしっかりと聞くことのできる生徒。

・心身共に健康な生徒

基本的な生活習慣を身につけ、健康づくりにはげむ生徒。感動する心を持つ生徒。

・楽しい学校生活を実現する

今日が楽しく明日が待たれる学校。いじめや不登校のない学校。教職員が心身共に健康な学校。

3. 大賀郷中学校の実態

学校について

〔よさ〕

・教職員、地域、保護者との関係は良好で、教員それぞれが役割分担を積極的にこなしている。

・八丈島の中央部西側に位置し緑に囲まれ自然環境に恵まれている。繁華街もなくトラブル等非行傾向は少ない。

〔課題〕

・地域、保護者、地域の公共機関との連携を今まで以上に深めていく必要がある。保護者の

ボランティアとしての参加を促し、学校・生徒の実情を実際に見ていただき理解と援助を得る。

- ・意図的・計画的・継続的指導に心がけ、教職員全員の教師力の向上に努める。

生徒について

〔よさ〕

- ・明るく素直で活潑的で教師の指導に従う。
- ・与えられた役目を素直に堅実に行うことができる生徒が多い。

〔課題〕

・自主性に乏しく、進んで何かをしようとしなない。常に受け身の姿勢で物事に取り組む。また、成就感を味わうことが少なく、すべてにおいて自信のなさが見られるため、発表の場をより多く設定していく。

- ・修学旅行や中体連の大会参加等を通して島外へ目を向けさせ、視野の広い生徒に育てる。
- ・自ら進んで心のこもったあいさつやTPOに応じた中学生らしい言葉遣いをさせる。

保護者・地域について

〔よさ〕

・学校に対して協力的で、行事、日常の活動に対して理解を示している。のびのびとした家庭教育を実践している家庭が多い。

〔課題〕

- ・保護者と十分コミュニケーションをとり、学校経営に生かす。
- ・授業参観・保護者会等の出席率を上げる。行事の参加を促す。

4. 学校経営の基本方針 「明るく楽しい学校」を創る

「明るく楽しい学校」とは、生徒の心が開かれ、歌声に満ちあふれ、今日が楽しく明日学校に行くのが待ち遠しい学校。

「明るく楽しい学校」とは生徒・教師・そして保護者、地域が信頼関係によって結ばれ安心して生徒ををまかせられる学校。生徒・保護者・教職員が楽しいと思える学校。

5. 平成23年度学校経営の重点目標

- (1) 一人一人の課題を把握し、自ら学ぶ態度、能力を育てる学習指導に努め、どの子にも基礎基本の定着をはかる。
- (2) 人権意識を高め、自分のよさや相手のよさがわかり、お互いに大切にしよう心を育てる。
- (3) 自らの健康づくりに励み、よりよい生活がおくれるよ

う基本的な生活習慣の定着を図る。

6. 重点目標を達成するための具体的方策

(1) 一人一人の課題を把握し、自ら学ぶ態度、能力を育てる学習指導に努め、どの子にも基礎基本の定着をはかる。

- ①時間割を工夫し、グループ制授業に取り組み基礎学力の定着と学力向上を目指す。
- ②日々の授業計画の中に生徒の主体性を育てるような指導形態を工夫する。
- ③校内研究を充実し、教師力を高め、生徒に還元していく。
- ④週案の確実な記述。提出。計画性をもった授業を行う。
- ⑤家庭学習のしおりを作成し、自主的な家庭学習の習慣化を図る。
- ⑥土曜学習会を企画し、学習の場を与えるとともに学力の向上を図る。
- ⑦常に謙虚な姿勢で指導に取り組み、他の教師の意見を参考にしながら学習指導、学校経営に努める。

研究は技術開発である。開発に努めない企業は衰退し、存在価値をなくす。
学校も教師も研究に努める存在でありたい

(2) 人権意識を高め、自分のよさ相手のよさがわかり、お互いに大切にしあう心を育てる。

- ①教師自らが人権尊重意識向上の研修に努め、生徒の規範となるようにする。
- ②道徳教育を計画的に行い、思いやりの心、人権意識に関する項目を設定する。
- ③教師自ら正しい言葉遣いに努めると共に、授業中のみならず、日常の生活の中で正しい言葉を使うように指導をする。

(3) 自らの健康づくりに励むとともに、よりよい生活がおくれるように基本的な生活習慣の定着をはかる。

- ①健康への関心を高め、自ら健康づくりに取り組める生徒を育てる。
- ②毎日給食後の歯みがきを実践しう歯の減少努める。
- ③怪我や事故を未然に防ぐこと考え、行動できる生徒を育てる。
- ④家庭との連携を図り、生徒の欠席数を減らす。
- ⑤生活習慣のチェックを計画的に行い、自らの生活習慣を振り返り、改善のために努力する子を育てる。

7. 平成23年度、目標と手だて

学校全体に関して

◎学力の向上

指導法の工夫・授業の工夫・反復学習・家庭学習の習慣化を図り、楽しく分かる授業にすることで学力の向上を目指す。グループ制授業や補充学習・土曜学習会を充実し、基礎・基本の定着を図る。

体力テスト・部活動等の取り組みを通し、運動への興味・関心・参加意欲を高め、体力の向上を図る。（スポーツ教育推進校としての取り組み）

○地域の教育財産・教育資源を生かす取り組み

自分・家庭・地域に学び、習得した学力を生かす生徒を育てる。

生徒に関して

◎家庭学習の習慣化

家庭学習の習慣化は、学年が早いほどよい、保護者の協力を仰ぎ、習慣化を促進すると共に学ぶ喜びを味わわせる。また、読書指導を充実する。

○自己肯定感の向上

様々な活動において興味・関心を高めるとともに成就感を味わわせ、自己肯定感を高めつつ、能動的な生徒の育成を図る。

保護者・地域に対して

◎生活習慣（早寝・早起き・朝ご飯）の確立

早寝・早起き・朝ご飯は、生徒にとって生活の基本である。生活指導・生活チェック健康教育・食育を通じてその重要性を周知し、生活習慣の確立に努める。

○授業参観・保護者会の出席率アップ

開催日を工夫し、参加すれば子育てに役立つ情報が得られる保護者会にする。授業参観では授業の内容、授業を見る視点を前もって配布し授業への関心を高める。

ホームページ、学校便り以外にも、宣伝活動を工夫し、学校情報の発信に努める。

学校・保護者・地域が連携して

◎あいさつ(基本的生活習慣の定着)

基本的生活習慣取り組み期間を設定し取り組む。また、挨拶の充実・言語環境の整備は、いじめの減少につながる実績を踏まえ、校内において引き続き言語環境の整備に取り組む。

大賀郷小学校との連携

◎交流から連携へ

大賀郷小学校との連携教育のねらいである。連携することにより、学習の習慣化と学力の向上を図ること。および、小中間の学習の段差を解消するため、分科会活動や交流活動に取り組む。

- ① **教育は今日行く** 今日できることは明日にのばすな、教育に待ったなし。
今日できなかつたら、明日のめどを立てよ。
- ② **知恵を出せ、汗(労力)を出せ、どうしようもなかつたらお金を出せ**
知恵と工夫で解決を図ろう、やすきにながれない
- ③ **困ったら声を出せ、一人で抱えるな**
声を聞いて、周りがそっと助け船を出す職場であってほしい